



The Final

3学年だより
第12号
2014年3月7日最終号

卒業おめでとう

高校の合格発表の日があのだ日本大震災のあった日でした。それゆえに予想しなかった形で新しい友となった人もいました。忘れることが出来ない高校の始まりでした。あれから3年間。確実にみんなは成長したはず。これからさらに成長する途上にいます。今日ははじめの日ではありますが、終わりではありません。これからいよいよ皆さんの人生が始まるのです。3学年団から皆さんに心からのエールを送ります。

3年1組 担任 横山 由加子

「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」

自分の足でしっかりと自分の道を歩いてください。感謝の心を大切に。

3年間、本当にありがとうございました。

3年1組 副任 目黒 昌哉

10代の後半は、今後の20~30年間の人生を方向付ける大切な時期です。人間力の基礎固めと、何事にも果敢にチャレンジする姿勢を忘れないで下さい。行動せずに後悔するよりも、失敗を恐れず実行して欲しいと思います。最後に、私の授業に積極的に参加してくれた皆さんと、毎日清掃に来てくれた皆さんに、心から感謝します。ありがとう。

3年2組 担任 石田 恵三子

勉強も行事もみんなで取り組んで手のかからない楽しいクラスでした。お陰で担任もなんとか無事卒業です。この1年の皆さんの頑張りは見事でした。三年間の成長に心から拍手を送ります。一人一人のドラマがありました。新しい生活が目の前に広がっています。常盤高校の思い出を糧に自信を持って明るく前向きにまた一歩踏み出しましょう。

3年2組 副任 佐藤 裕明

授業や部活動に関わったことのある生徒はほんの一部でしたが、そんな私にも声をかけてくれる生徒が多く、他愛もないおしゃべりなどをして気持ちが和むことが多かったです。これから、知らない世界に飛び込んでいく人が多いと思います。そのときも、ぜひまわりの雰囲気明るくできる大人になってください。卒業おめでとう！

3年3組 担任 中村 哲也

卒業おめでとう！ 転勤早々「担任」と言うことで、君たちに多くの迷惑を掛けたと思います。しかし、「生徒」の時は「学生」のうちとは、許されたことが、大人社会での厳しい現実を知ることになるでしょう。その時、ここ数年の経験が生きてと思います。

最後に……、「いつの日か幸せを自分の腕でつかむよう」

3年3組 副任 福原 裕子

素直で優しい皆さんに毎日癒されていました。天然+加齢による私のポケをいつも温かく受け止めてくれてありがとう。周りへの気配りができる人たちが多く、居心地の良い学年でした。皆さんはまだ原石です。自分と異なる価値観を持ったさまざまな人との出会いを通して、多面的な輝きを持つ宝石に自分を磨き上げていってください。

3年4組 担任 岸 清二

「あいさつ」と「そうじ」、これがしっかり出来る人になってください。これが出来る人を誰も嫌がることはありません。これが出来る人は誰からも信頼されます。人に言われてやる「あいさつ」と「そうじ」は苦痛でしかありません。でも、自分からしてみてください。これほど気持ちのいいものはありません。それがわかる大人になってください。

3年1組 副任 小山 建史

「花よりも花を咲かせる土になれ」
屋稜高校 山下監督の言葉

3年 総副任 阿部 隆

卒業おめでとう！

新しい生活で、何でも経験し、失敗と成功をくり返し、大きく存て下えい！ 阿部